

がん化学療法指示書

登録番号 248

作成日 2020/1/8

レジメン名	CBDGA+nab-PTX+Atezolizumab
診療科・対象疾患	(呼)非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
テセントリク	アテゾリズマブ	1200mg/body	Day1
アブラキサン	アルブミン懸濁型パクリタキセル	100mg/m <sup>2</sup>	Day1,8,15
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5 (max6)	Day1

治療内容	注	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール				
								day1	day8	day15	day21	
治療内容	注	Rp1		生理食塩液	100ml	任意	メインルート確保用	●				
		Rp2		パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●				
				デキササート(6.6mg)	1瓶							
				ファモチジン(20mg)	1本							
		Rp3		生理食塩液	100ml	60分※1	点滴静注メイン	●				
				癌 テセントリク(アテゾリズマブ)	1200mg							
		Rp4		生理食塩液	250ml	120分※2	点滴静注メイン	●				
		Rp5		生理食塩液	100ml	任意	側管ルート確保・フラッシュ用	●				
		Rp6		生理食塩液	100ml	30分	点滴静注側管※3	●				
				癌 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)	100mg/m <sup>2</sup>		※フィルターより下側の三方活栓から投与する					
						生理食塩液は溶解に必要な量のみ使用する						
		Rp7		生理食塩液	50ml	10分	点滴静注側管	●				
		Rp8		生理食塩液	250ml	60分	点滴静注側管	●				
				癌 カルボプラチン	AUC							
				滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール		
		Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用		●	●		
		Rp2		生理食塩液	100ml	15分	点滴静注メイン		●	●		
				デキササート(6.6mg)	1瓶							
				ファモチジン(20mg)	1本							
		Rp3		生理食塩液	100ml	30分	点滴静注メイン		●	●		
				癌 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)	100mg/m <sup>2</sup>							
				生理食塩液は溶解に必要な量のみ使用する								

その他必要薬剤  
 ・アプレビタント(125mg):1cap分1 ルートキープ時に内服(day1)  
 ・アプレビタント(80mg):1cap分1 朝食後に内服(day2,3)

総投与時間 Day1(初回)3時間30分・(2回目以降)降忍容性良好の場合)3時間、Day8,15:1時間

血管外漏出リスク  
 テセントリク(アテゾリズマブ):非壊死性抗がん剤  
 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル):壊死性抗がん剤  
 カルボプラチン:炎症性抗がん剤

投与時の注意事項  
 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)は特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)であり特定生物由来製剤使用同意書が必要  
 テセントリク(アテゾリズマブ)はフィルター付きルートが必要  
 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)はフィルター付きルートが使用不可  
**【投与方法の注意点】**  
 Day1  
 ※1:テセントリク(アテゾリズマブ)の投与速度は初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる  
 テセントリク(アテゾリズマブ)はメインルートからフィルター付きルートで投与  
 ※2:次の(Rp 4)生理食塩液250mlは2時間の速度でメインルートから投与を開始し、15分間経過した時点で次の(Rp 5)生理食塩液100mlをフィルターより下側の側管ルートから(フィルターを過ぎない)ルート確保用として接続  
 ※3:次の(Rp 6)アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)は側管ルートから投与  
 ※4:メインルートの生理食塩液250mlと側管ルートのアブラキサン、カルボプラチンは同時に投与しながら終了する

備考欄  
 Infusion Reaction Grade2の場合、テセントリク(アテゾリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。  
 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。  
 レスタミンコーワ10mg 5錠  
 アセトアミノフェン300mg 2錠